

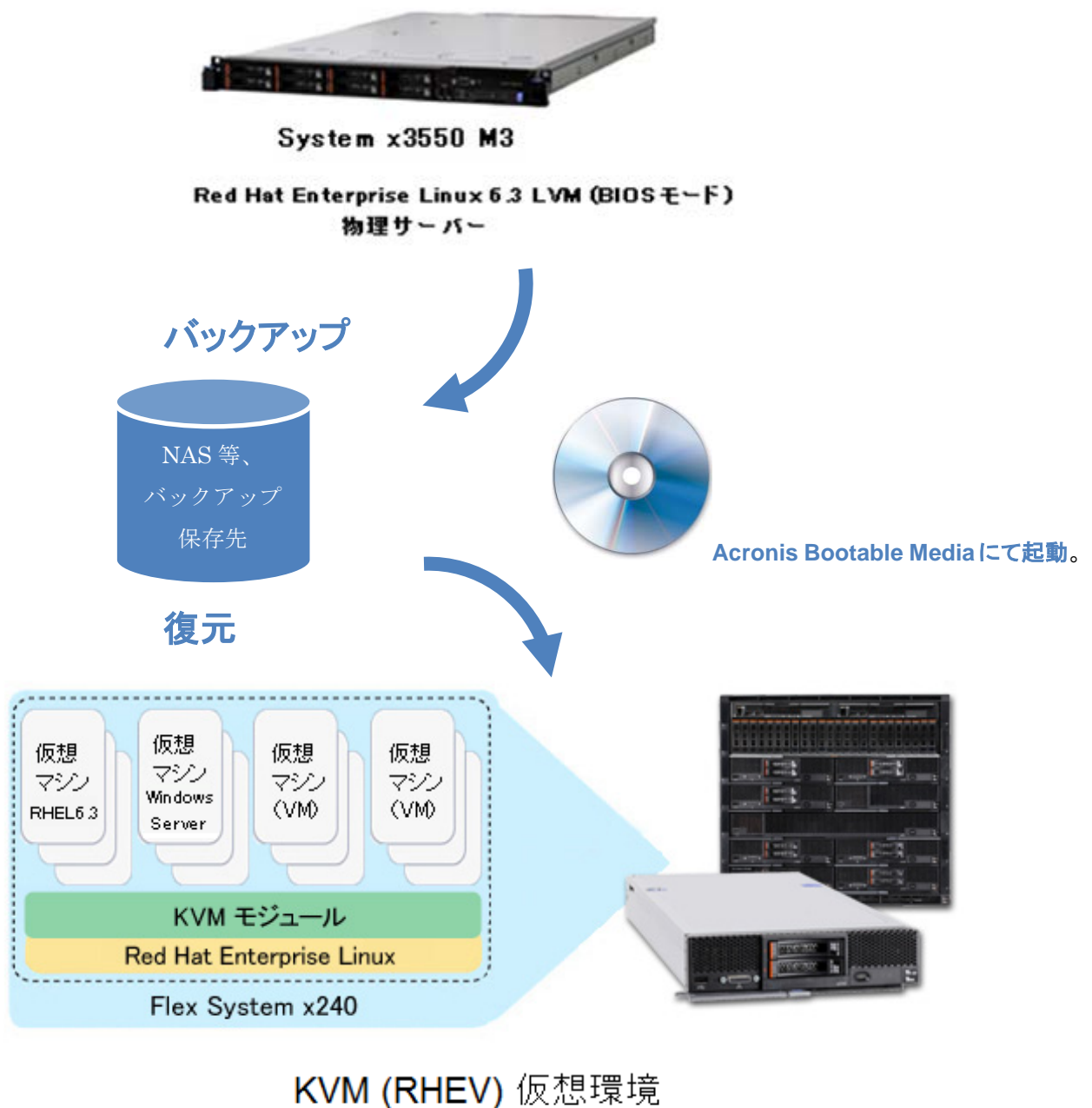
Acronis Backup & Recovery 11.5

Linux (RHEL6.3 LVM) + KVM (RHEV) 簡単 P2V ガイド

2012 年 12 月 17 日 ver1.0 [初版]

システム環境構成 概要

物理マシンから仮想マシンへ移行

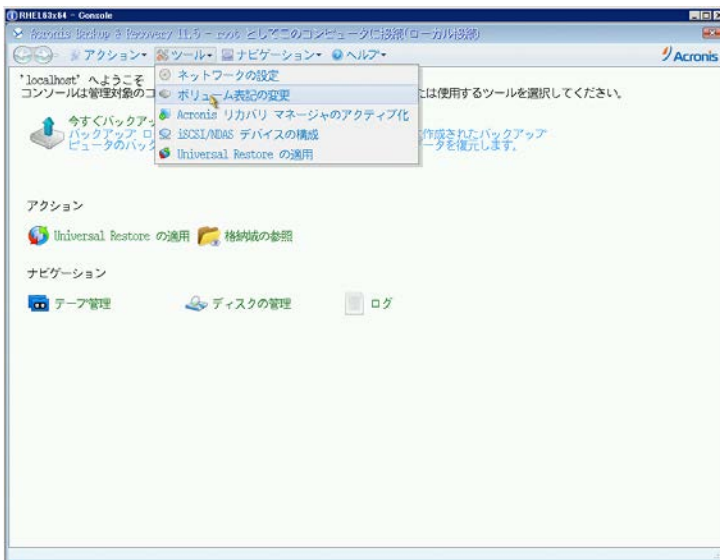


移行対象マシンにおけるイメージ作成手順

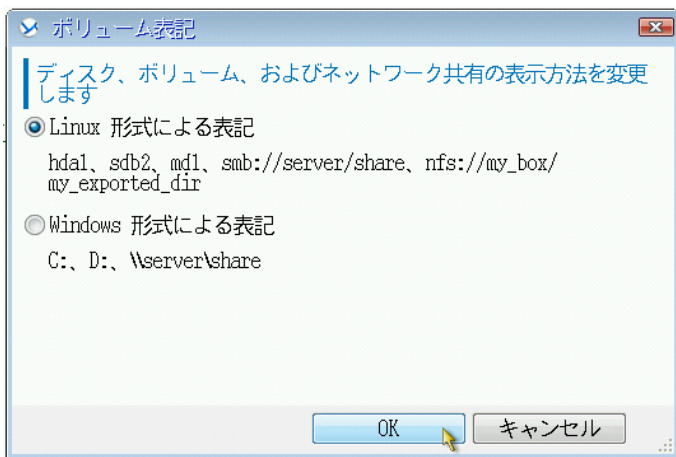
1. ドライブに CD/DVD をセットして、マシンを起動します。
2. しばらくすると右のような画面になりますので、Acronis Backup & Recovery 11.5 (64 ビット) をクリックします。



- ①「ツール」、「ボリューム表記の変更」を選択します。



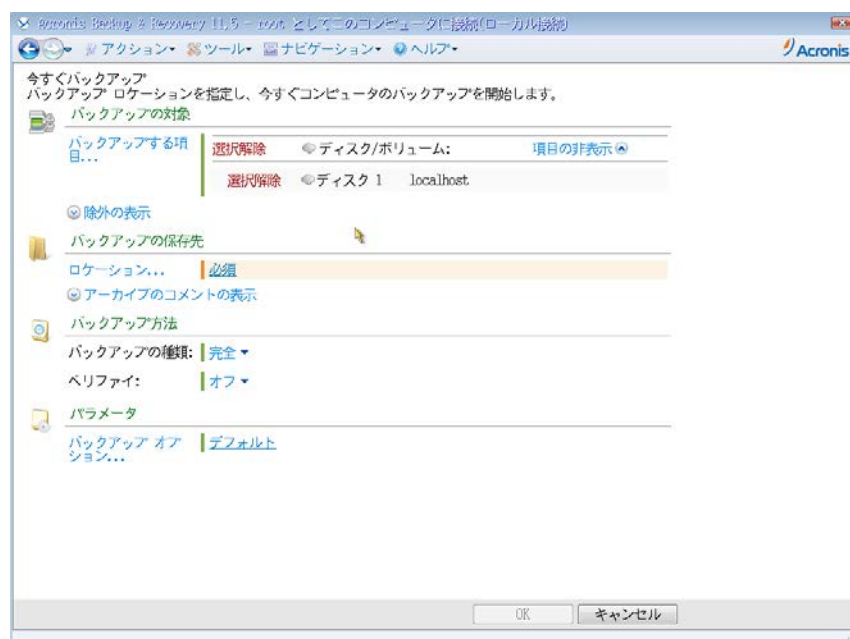
- ②ボリューム表記を「Linux 形式による表記」に指定して、「OK」をクリックします。



3. 次の画面で「今すぐバックアップ」をクリックします。



4. バックアップタスク作成画面が表示されます。



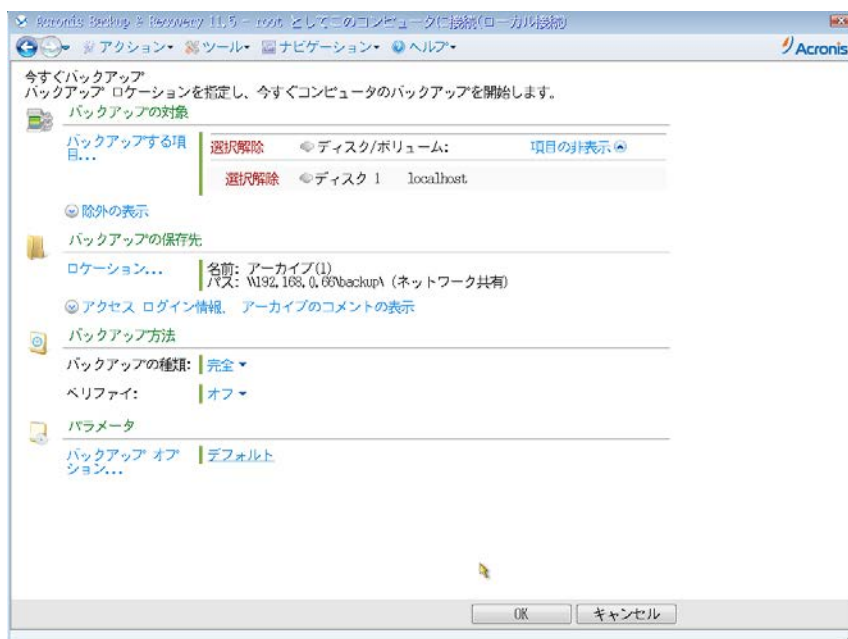
5. 「バックアップの対象」 - 「バックアップする項目」をクリックし、バックアップ対象となるディスクまたはパーティションを選択します。「OK」をクリックして画面を閉じます。

6. 「バックアップの保存先」下の「ロケーション」をクリックし、保存先を指定します。

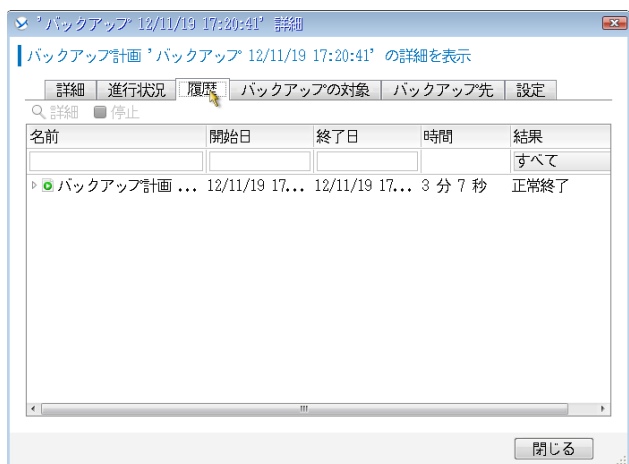
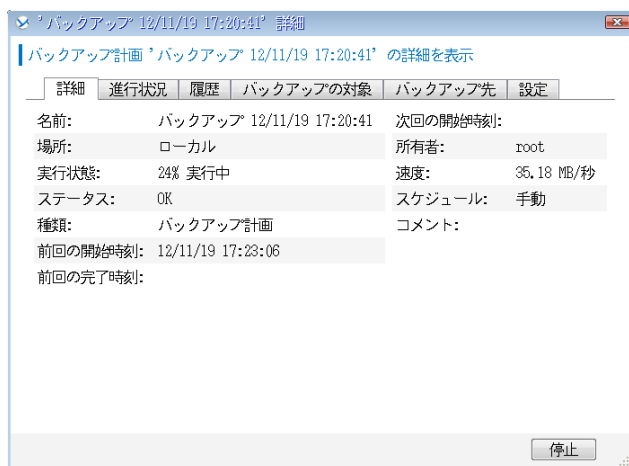
「OK」をクリックして画面を閉じます。

※バックアップしようとしているディスクまたはパーティションと同じ場所を保存先として指定しないでください。

7. 画面右下の「OK」ボタンをクリックし、バックアップタスクを開始します。



8. バックアップ処理が開始されます。完了すると正常終了と表示されますので、「閉じる」をクリックして画面を閉じます。



これでイメージ作成は完了です。

CD/DVD を取り出し、マシンを再起動してください。

移行先へのイメージ展開手順

1. ISO ストレージドメインに Acronis Bootable Media の iso イメージをアップロードします。操作は管理サーバーで実施します。

```
# rhevm-iso-uploader -i ISO upload ABR11.5AL_ja-JP_32308Boot.iso
```

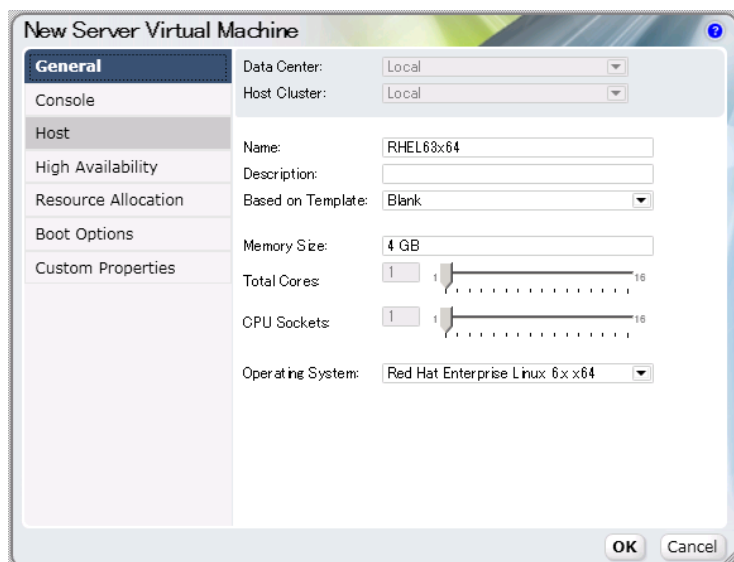
Please provide the REST API password for RHEV-M (CTRL+D to abort) :

2.KVM (RHEV) 仮想環境上で、仮想マシンを作成します。

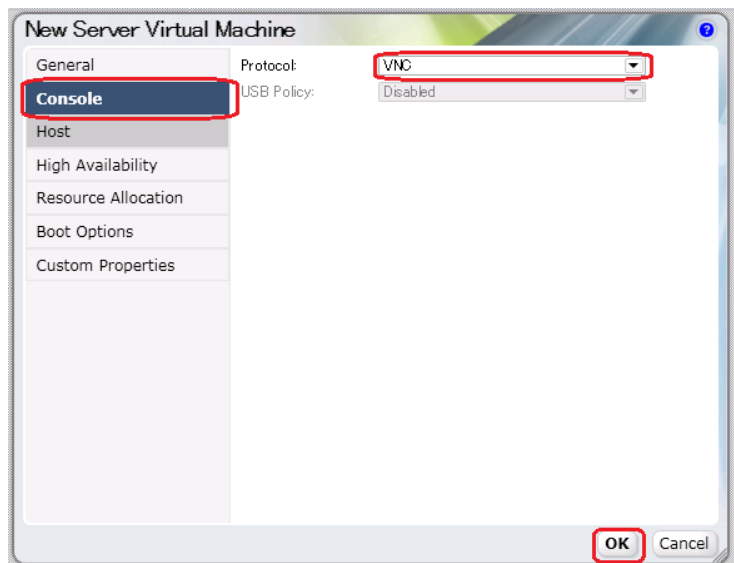
①「Virtual Machines」タブを選択して、「New Server」をクリックします。



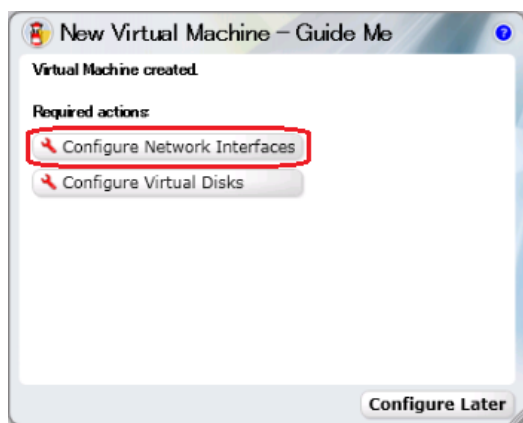
②New Server Virtual Machine の登録画面が表示されるので、必要な項目を入力します。



③Console の Protocol: を“VNC”に変更して、「OK」をクリックします。(マウスの操作性が改善されます。)



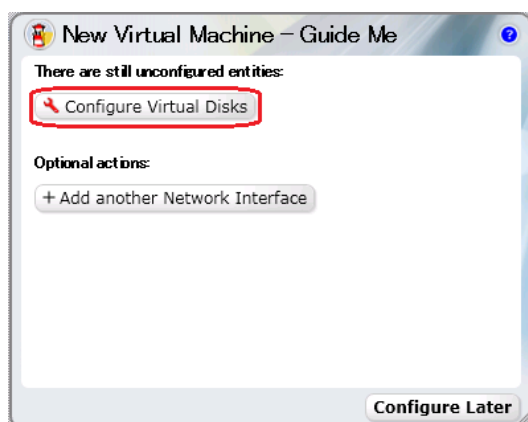
④仮想ネットワークデバイスを設定します。「Configure Network Interfaces」をクリックします。



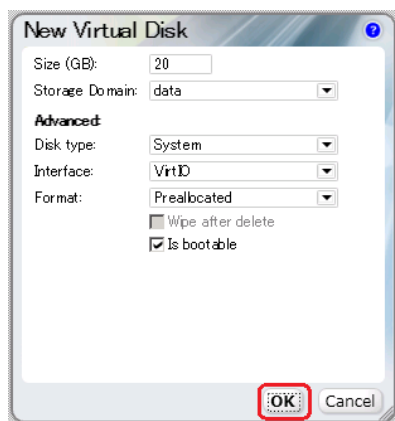
⑤Type:に「Red Hat VirtIO」を選択して、「OK」をクリックします。



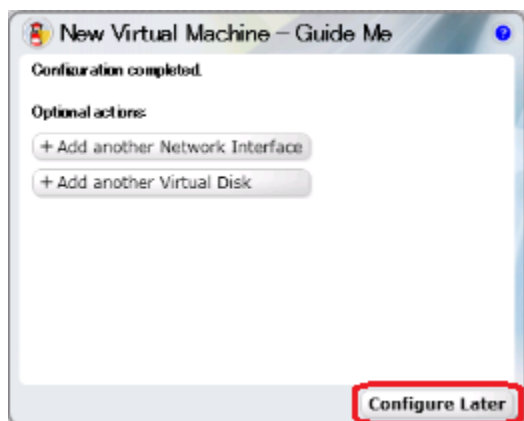
⑥次に仮想ディスクを構成します。「Configure Virtual Disks」をクリックします。



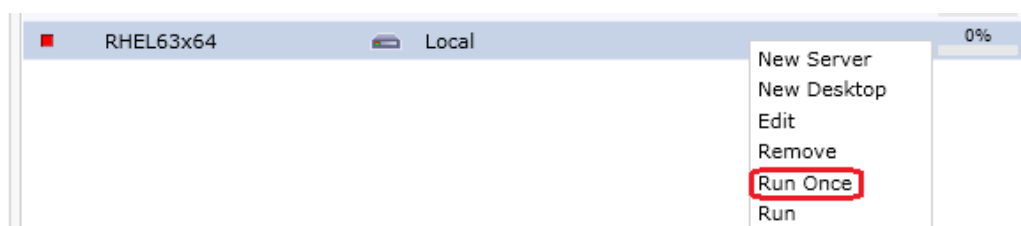
⑦ディスクのサイズを指定します。Interface は「VirtIO」を指定して、「OK」をクリックします。



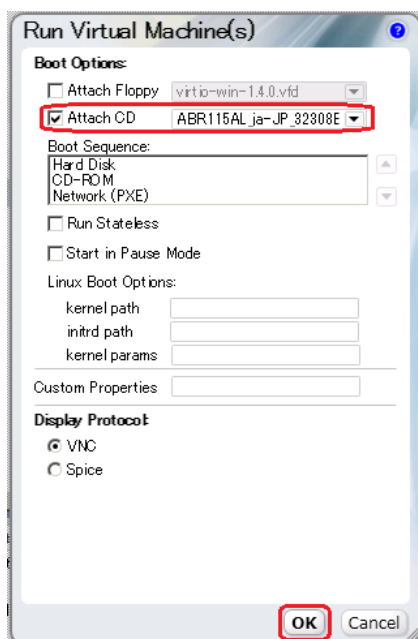
⑧設定が完了したら、「Configure Later」をクリックします。




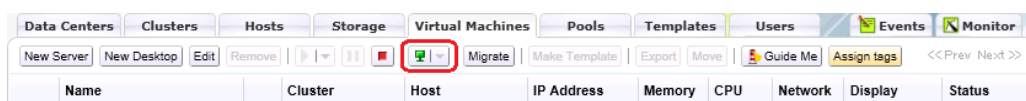
⑨VM が作成されます。右クリックして、「Run Once」をクリックします。



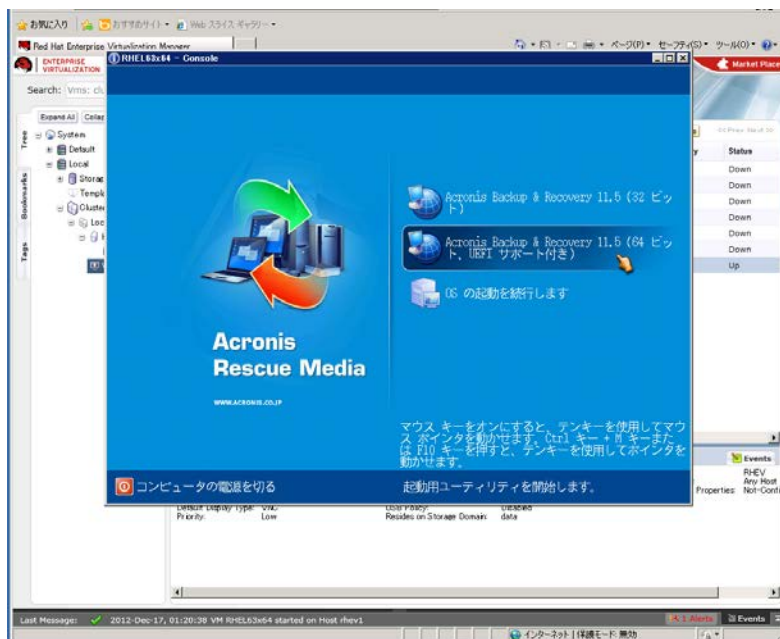
⑩「Attach CD」にチェックを付けて、アップロード済みの Acronis Bootable Media の iso イメージを指定します。設定が完了したら「OK」をクリックします。



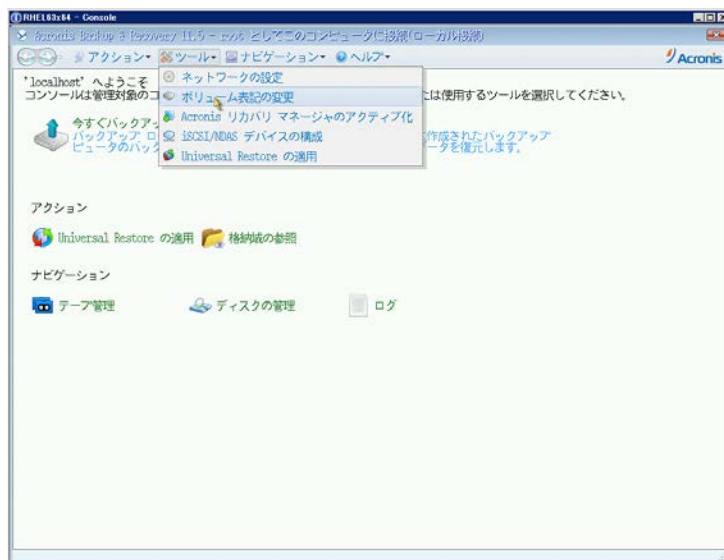
⑪VM が起動します。コンソールを開くため、 をクリックします。



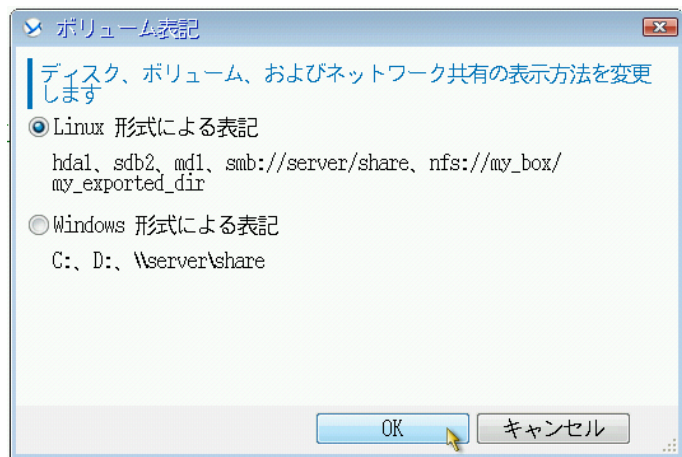
3. 仮想マシンを CD/DVD から起動します。
4. しばらくすると下記のような画面になりますので、Acronis Backup & Recovery 11.5 (64 ビット) をクリックします



- ①「ツール」、「ボリューム表記の変更」を選択します。



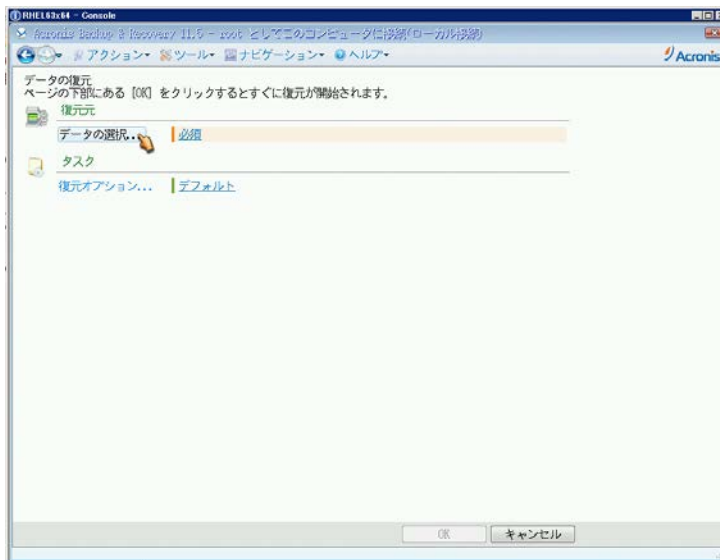
- ②ボリューム表記を「Linux 形式による表記」に指定して、「OK」をクリックします。



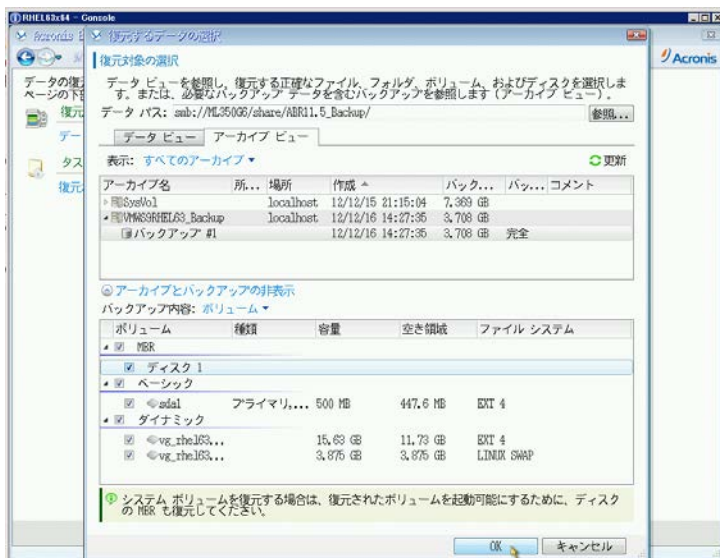
5. 次の画面で「復元」をクリックします。



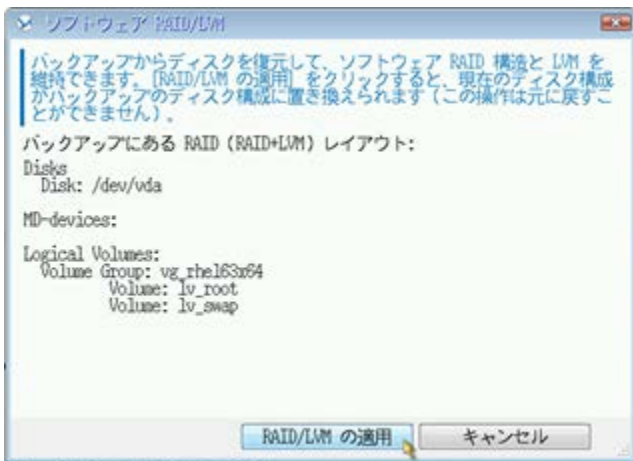
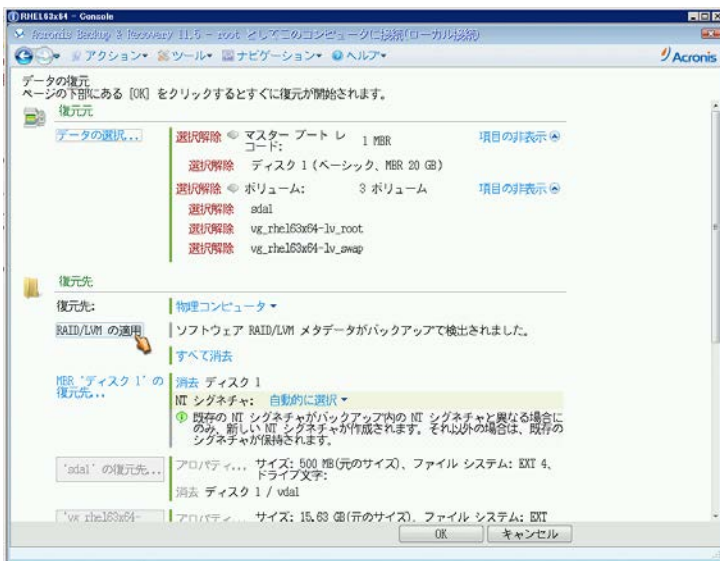
6. 復元タスク作成画面が表示されます。



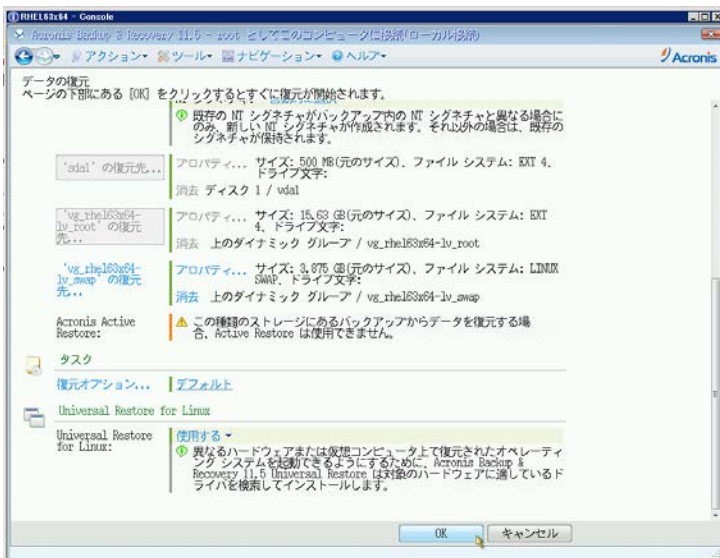
7. 「データの選択」をクリックし、「アーカイブビュー」から保存済みのバックアップデータを指定します。



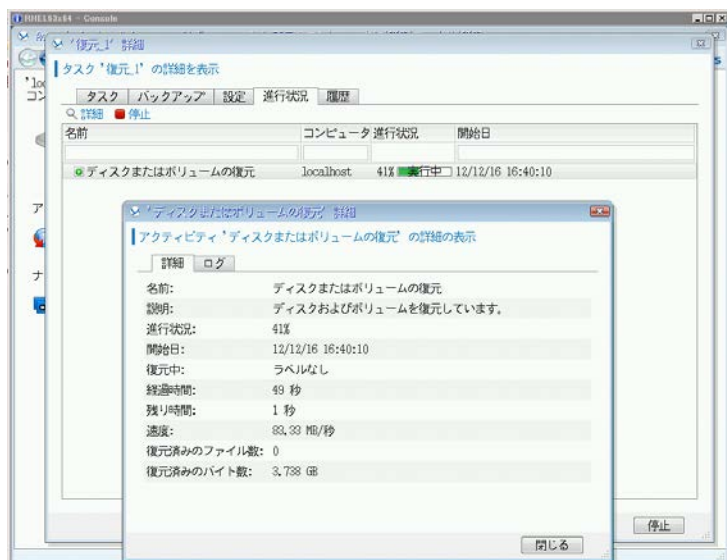
- ①LVM(論理ボリュームマネージャ)によって作成された MD デバイスやボリュームの復元では、対応するボリューム構成が再作成されることが前提です。
- ボリューム構成を確認し、「RAID/LVM の適用」をクリックして作成します。



8. Universal Restore for Linux を「使用する」に変更します。



9. 画面右下の「OK」ボタンをクリックし、復元タスクを開始します。復元処理が開始されます。
- ※マシンの電源は切らないでください。



10. 復元処理が完了すると、正常終了と表示されますので、「閉じる」をクリックして画面を閉じます。

※ 警告を伴う正常終了と表示される場合がありますが、異なる環境への復元処理を実行していることが理由となります。この警告は無視して頂いても問題ありません。

これで復元(P2V)は完了です。

CD/DVD を取り出し、マシンを再起動してください。